

令和5年度 各務原市立各務小学校 学校経営の全体構想

【学校課題】

- ・自分の良さに気づき、自信をもって行動できる力の育成(自己肯定感・自己有用感)
- ・自分の考えや気持ちを、伝える力の育成(表現力)
- ・仲間と共に、よりよい生活をめざし、やり切る力の育成(主体性・自治力)

【学校の教育目標】

よく考え
助け合って
つくり出し
やりぬく子

【岐阜県教育ビジョン】

- ・自立力・共生力・自己実現力

【各務原市の方針】

- 誇り・やさしさ・活力ある児童生徒
～一人一人が学ぶ喜びを実感～
- ◇たくましく生き抜く力の育成
- ◇安心して学べる教育環境の提供

【スローガン】 学び合い

- 聞き 考え 話す ○ 自分たちで やってみる ○ 最後まで やり通す

【令和5年度 大切にしたいこと・指導の姿勢】◎教職員も児童も、前向きな気持ちで元よく学校生活をおくる

- 学び合う姿勢・・・「誰もが得意なことや良さをもっている」ことからのスタート 集団としての向上 学び続ける
- 組織で動く・・・共通理解と共通実践の徹底 個々の力の発揮 確実な「報・連・相」 全教職員で全児童を育てる
- 児童に力をつける・・・自己肯定感・自己有用感の育成 学力向上 授業改善 ICTの有効的な活用
個に応じた支援・「生きるための力」の育成(特別支援教育・不登校傾向児童等)
- 地域連携・・・地域資源(人・遺産)の有効的な活用 コミュニティスクール 開校150周年記念事業

よく考える	助け合う	つくり出す	やりぬく
～考えを伝える～	～互いを認め合う～	～考えを出し合う～	～最後まで頑張る～
○基本的な学習習慣の定着・学習目標へのこだわり(「頑張り大賞」) ○主体的な学びを感じる授業づくり・授業改善 ◎「考えをつくる」「考えを話す」時間の確保 ○発問の工夫 ◎ICTの効果的な活用(考えの発信) ○「朝学習」「各務学習」の充実	◎「学級目標」を柱にした学級経営 ○「よいことみつけ」の継続 ○人権教育の充実・いじめの根絶 ○ボランティア活動の充実(「ボランティア手帳」の活用)	○学級活動(話し合い活動・係活動)の充実 ○学級の課題解決 ◎よりよい生活を目指した取組(「学級チャレンジ賞」) ○児童会活動・委員会活動・たて班活動の推進(あいさつロードの活性化・創造的な活動の工夫)	○一人一人に「目指す姿」・「めあて」をもたせる指導 ○やりぬくための手立てを一緒に考える場の設定 ◎「心を聴く」「任せる」「見守る」姿勢と確実な価値づけ(「やりきり賞」)

【家庭との連携】 ～子どもを育てる思いを共有し、学校でできること、家庭に任せることを伝える～

- 家庭や学校での児童の姿の情報交流(良さの発見・困り感の共有・寄り添う姿勢)
- 学校生活への基礎づくり(生活習慣・家庭学教・学習準備)
- 家庭の教育力の向上のための助言
- PTA活動や学校行事等への協力

【地域との連携】 ～「地域の中で子どもは育つ」「ふるさと地域を誇りに思い大切にできる」～

- 「鵜沼中校区学校運営協議会」自ら考え、進んで行動する子 主体性・社会性・自己肯定感
- 地域への愛着の育成(地域資源・地域講師等の活用 地域行事への参加)
- 開校150周年記念事業(学校の歴史や地域の歩みを学ぶ 学校や地域への誇り)
- 関係諸機関との連携(幼保小中の連携・学校評価の検証・自治会・青少年育成市民会議・見まもり隊等)

